



バイヤーの お悩み相談室

関西購買ネットワーク会

2021年12月4日

悩みはあって当たり前。
それは生きている証であり、
常に反省している証左でもある。

(出典：松下幸之助)

悩んでるってことは
頑張ってる証拠！

あーあー

なるようにしかならない

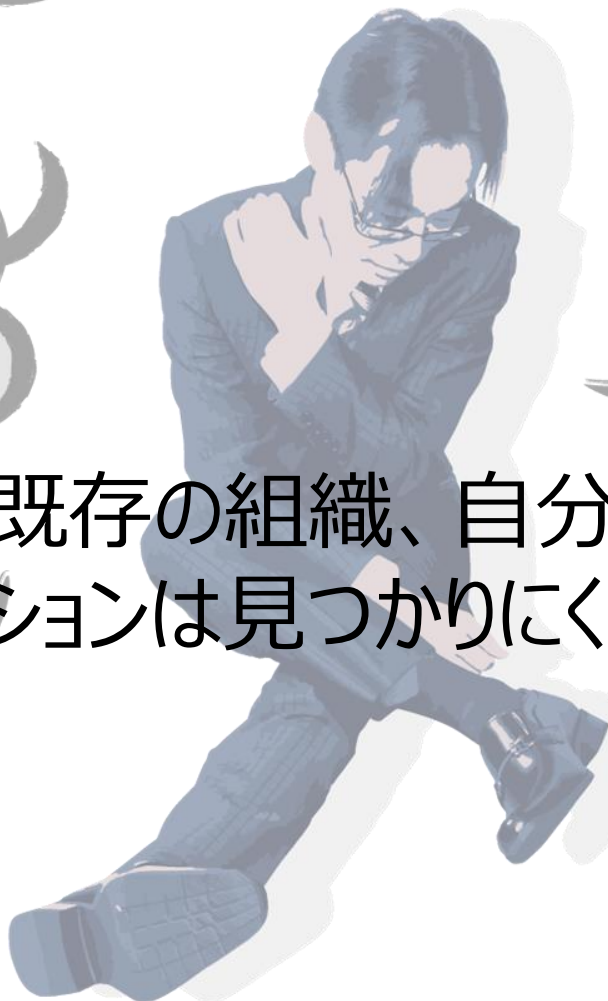
お手上げ

辛い

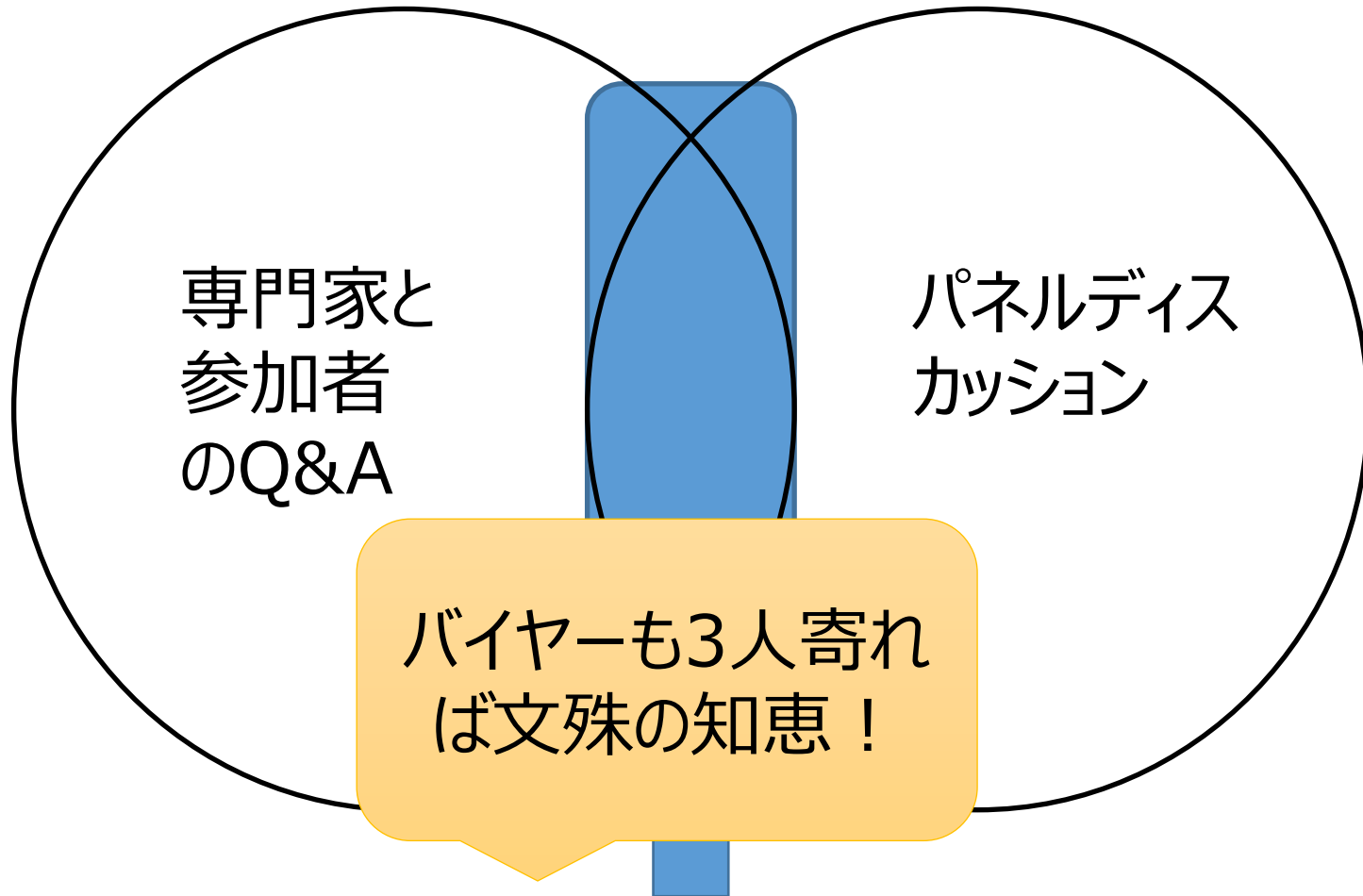
既存の経験、既存の組織、自分の知識だけでは
新しいソリューションは見つかりにくい

ハア～

.....



コンセプト



参加者でワイワイガヤガヤする
意見を交わす楽しいお茶会

グラウンドルール（2点）

・悩んでいる方をいたわる気持ちで接しましょう。

・発言される方は、挙手してあてられてから発言しましょう。

ハイブリッド版「お悩み相談」ルール

・お題説明→グループ対話(10分)→全体共有

・発言するときは、ビデオON、マイクON、そして**笑顔**。

・もし、「シーン」となって、対話の口火をきりづらかったら、名前のアイウエオ順で一言ずつ。

・論点ずれて世間話になってもOK。大切なのは**対話を楽しむ**♪

・アドバイスは簡潔に。より**たくさんの視点**からの**気づき**を出しあえるように。

お悩みの共有ありがとうございました♪

今回取り上げるお悩み

皆様の調達部門のDX, AI
導入（コストシミュレー
タ等）の取り組み、BPO
の事例などを知ってみたい
いです

1. 皆様の調達部門のDX, AI導入（コストシミュレータ等）の取り組み、BPOの事例などを知ってみたいです

問い

そもそもDX

とは？

1. 皆様の調達部門のDX, AI導入（コストシミュレータ等）の取り組み、BPOの事例などを知ってみたいです

DXとは(出典：Wikipedia)

経済産業省

企業がビジネス環境の激しい変化に対応し、データとデジタル技術を活用して、顧客や社会のニーズを基に、製品やサービス、ビジネスモデルを変革するとともに、業務そのものや、組織、プロセス、企業文化・風土を変革し、競争上の優位性を確立すること。

ガートナー社

企業内のIT利用は三段階ある。

- ・業務プロセスの変革
- ・ビジネスと企業、人を結び付けて統合する
- ・仮想と物理の世界を融合して人／モノ／ビジネスが直接つながり、顧客との関係が瞬時に変化していく状態が当たり前となる

1. 皆様の調達部門のDX, AI導入（コストシミュレータ等）の取り組み、BPOの事例などを知ってみたいです

(出典 : Wikipedia)

AIとは

人工知能（じんこうちのう）またはアーティフィシャル・インテリジェンス（英: artificial intelligence、AI〔エーアイ〕）とは、「『計算（computation）』という概念と『コンピュータ（computer）』という道具を用いて『知能』を研究する計算機科学（computer science）の一分野」を指す語[1]。「言語の理解や推論、問題解決などの知的行動を人間に代わってコンピューターに行わせる技術」[2]、または、「計算機（コンピュータ）による知的な情報処理システムの設計や実現に関する研究分野」ともされる。

BPOとは

ビジネス・プロセス・アウトソーシングは、企業運営上の業務やビジネスプロセスを専門企業に外部委託することを指す。

1. 皆様の調達部門のDX, AI導入（コストシミュレータ等）の取り組み、BPOの事例などを知ってみたいです

問い

で、DX、AI
は何のため？

1. 皆様の調達部門のDX, AI導入（コストシミュレータ等）の取り組み、BPOの事例などを知ってみたいです

- ・新しいビジネス、画期的な高付加価値のビジネス
- ・利益を出す
- ・既存の業務負荷を軽減して、新しい取り組みにシフトするため
- ・付加価値の低い仕事をITにまかせて、あいた時間を付加価値の高い仕事に充てるため
- ・他社に負けないため
- ・属人化を防ぐため
- ・意思決定・判断を早くより確からしく行うため
- ・今まではできなかったような取り組みを行うため

1. 皆様の調達部門のDX, AI導入（コストシミュレータ等）の取り組み、BPOの事例などを知ってみたいです

問い DXとAIで
何を実現して
それから
何をしたいの？

1. 皆様の調達部門のDX, AI導入（コストシミュレータ等）の取り組み、BPOの事例などを知ってみたいです

・BPO: 支出の低いものは中国にアウトソーシング。集中しなければならぬものに集中するため。

・AI: AIフォースソリューションズ「アマテラス」を使っている。属人的になっている業務をだれがやってもできるように、仕組みを導入。

https://www.aiforce.solutions/amateras_ray/

データを入れたら分析してくれる。AIフォースソリューションズがコンサル的なこともしてくれる。

購買とファイナンスで、消費税の間違いの対策、需要・発注のデータから最適化をはかる。購買のデータだけでなく、他の部門のデータも併せて分析。

・RPA

・需要予測、コスト試算をトライしたが、まだ技術がまだかな・・・

・売上予測は、社内より市場情報を入れないと無理かな

・適正価格をAIで予測

1. 皆様の調達部門のDX, AI導入（コストシミュレータ等）の取り組み、BPOの事例などを知ってみたいです

・判断に恣意的・主観的な要素が加わらないようにするにはAIは適している

・販売予測から、安全在庫の算出をやろうとしています

・最適な設計（板金部品など）

・類似品の標準化（類似品を探す）

・デジタルレイバー

・現在の仕事をそのままITに置き換えても、意味がない

・先日、仮想人材派遣という話を聞いて面白いと思いました。

<https://plus-zero.co.jp/aei>

・設備の運転データをAIに読ませて、故障を事前に察知して予防保全を行うことを行うこと

・何とかダムさんが売り込みに来ましたが、画像認識技術が上がらないと

・最近のAIはどの工程でどう判断したかの見える化が出来るようになって
いるみたいです

1. 皆様の調達部門のDX, AI導入（コストシミュレータ等）の取り組み、BPOの事例などを知ってみたいです

- ・A Iの中でもニューラルネットワークを用いた仕組みはブラックボックス化が避けられないような気はします。A Iという言葉が指す技術の範囲が広いので、見える化できるものでA Iと呼ぶモノもあると思います。
- ・いわゆるシンギュラリティーの時代が到来したらA Iの可能性は人智を超えるかもしれませんが、今のA Iはそこまでのものではありませんよね。
- ・AIでのブラックボックス化の課題解決
- ・ブラックボックス化されると、理屈が解らない人が増える
- ・A Iの中でもニューラルネットワークを用いた仕組みはブラックボックス化が避けられないような気はします。A Iという言葉が指す技術の範囲が広いので、見える化できるものでA Iと呼ぶモノもあると思います。
- ・確かに変数が多数あるAIは見える化は難しいと思います
- ・今のAIは丸暗記、これからはポイント学習ができる、仕組みを理解できる形が必要。

1. 皆様の調達部門のDX, AI導入（コストシミュレータ等）の取り組み、BPOの事例などを知ってみたいです

問い それって、
DXとAIでなければだめ？

1. 皆様の調達部門のDX, AI導入（コストシミュレータ等）の取り組み、BPOの事例などを知ってみたいです

DXとAI導入 事例紹介 だれかお願い♪

1. 皆様の調達部門のDX, AI導入（コストシミュレータ等）の取り組み、BPOの事例などを知ってみたいです

DXと言えは？

- ・ SAPなどのERP
- ・ 生産管理情報
- ・ 相見積システム
- ・ 現場の不良検知システム

AIと言えは？

- ・ チャットボット
- ・ 自動音声によるコストダウン交渉
- ・ 3Dデータによる見積査定システム

1. 皆様の調達部門のDX, AI導入（コストシミュレータ等）の取り組み、BPOの事例などを知ってみたいです

問い それって、
入れてうまくいった？
こんなはずじゃなかった話、あるでしょ！

1. 皆様の調達部門のDX, AI導入（コストシミュレータ等）の取り組み、BPOの事例などを知ってみたいです

- ・有機化合物の適正価格をAIで予測しようとした。1年たっても満足の得られる予測が得られない。学習させるための膨大なデータが必要。
- ・現在の仕事をそのままITに置き換えても、意味がない
- ・システムに合わせないと意味がないというのはその通りだと思います
- ・いまの仕事を一旦棚卸して、やる仕事捨てる仕事を分けしてから入れないと意味がない
- ・私の職場の業務でも、製品の鑄造欠陥をA Iの強化学習による画像認識で解決できないかチャレンジ中です。不良サンプルが少ないせい
か、まだ学習（精度）がうまく言ってません。
- ・製品検査の画像診断の場合は100%を求めるのでそこがきつい。
- ・今のAIは丸暗記、これからはポイント学習ができる、仕組みを理解できる形が必要。
- ・AIがガリ勉だけど、天才ではない。
- ・発注先、取引先が両社使ったら、調達いらない？

1. 皆様の調達部門のDX, AI導入（コストシミュレータ等）の取り組み、BPOの事例などを知ってみたいです

- ・AIの取り組みはほとんど失敗というか、それ以前にAIでできることとできないことを考えて活用しないと無駄な取り組みになる可能性があります。
- ・なんでもかんでも叶えてくれる=AI という考えはやめた方がいい
- ・100%は現状難しいですね。けど、製品検査の画像診断の場合は100%を求めるのでそこがきつい。
- ・データがあつてのAIの活用。100%を求めるのではなく、AIを活用できる方向を思考停止しないで考えていく。
- ・当社も画像診断による製品検査で利用してますが、100点はほんとに難しいですね。。。100点取って当たり前って認識がそもそも間違っているということですよ。。。
- ・人間がやってる検査も100%ではないので、人間よりマシな検査精度になったら導入しようかなと思ってます。
- ・そうですね、画像診断とかは、方向や個数、計測方法など、あらゆることを検証必要みたい。それでも100%いかないから、難しいですよ

1. 皆様の調達部門のDX, AI導入（コストシミュレータ等）の取り組み、BPOの事例などを知ってみたいです

じゃあ
どうやったらうまくいく？
いま、何かからやっていく？

1. 皆様の調達部門のDX, AI導入（コストシミュレータ等）の取り組み、BPOの事例などを知ってみたいです

問い

BPOとは？

1. 皆様の調達部門のDX, AI導入（コストシミュレータ等）の取り組み、BPOの事例などを知ってみたいです

BPOとは
企業活動における業務
プロセスの一部を、
企画・設計・実施まで
を一括して、外部に委
託すること

1. 皆様の調達部門のDX, AI導入（コストシミュレータ等）の取り組み、BPOの事例などを知ってみたいのです

調達事務

- ソフト：事前見積、発注、要員評価、価格協定
- ハード：納期管理、EOL*1、PCN*2、不良品管理
- 代理購買：通常のBPO以外にも購買事務代行も可能（当社名義の注文）
- 付帯業務：各種問合せ、納期フォロー、郵送業務など

調達管理

- 予算、実績統計
- 買掛計上、支払事務（海外送金事務含む）
- 取引先口座管理、パートナーマネジメント
- 契約書管理、異常値管理
- 業務標準化支援、規則・手順整備など

調達IT

- 運用：マスタ登録、ヘルプデスク対応
- システム導入支援：各種調達システム導入支援
- ITサポート：RPA開発、監視
- データ分析支援：データ提供、統計資料作成

コンプライアンス管理（調達管理）

- 取引先維持認定、再委託先管理
- 個人情報審査、基本業務監査、請負峻別監査
- コンプライアンス教育支援
- 監査指摘事項改善対応

悩んでるってことは
頑張ってる証拠！

一緒に悩んでくれる
仲間もいる

悩みはあって当たり前。
それは生きている証であり、
常に反省している証左でもある。

(出典：松下幸之助)

関西購買ネットワーク会に
また遊びに来てね！